

交通安全通信

第七二号
(夏号)

夏の交通安全県民運動

【期間】
令和八年七月十一日から、令和八年七月二十日までの十日間です。

【目的】
県民一人ひとりが、安全を第一に考え、交通のルールの遵守と交通マナーの実践に務める事により、交通事故防止を図る

運動の重点

① 子供と高齢者の交通事故防止

② 自動車と二輪車の安全利用の推進

③ 飲酒運転等危険運転の根絶



静岡市の年間テーマ

自分自身と相手を守る
交通ルールとマナーの徹底
人も車も自転車も

「スローガン」

安全をつなげて広げて
事故ゼロへ

清水警察署より

清水警察署交通課安全係
金岩係長より

春の誓いを 忘れる頃に
待ち構えるは 青切符

自転車運転者の違反行為に対する自転車反則通告制度の適用から三か月が立ちました。

自転車運転者による違反行為、また車やバイクを運転する皆さん、あなた自身、または周りの人の行動や考え方に何か変わったことはありますか？

去年の同じ時期と比べて、交通事故の発生件数がどのようにになったかというところ、自転車が関係する事故は二割り近く減り、自転車側により一時不停止などの大きな原因（違反）があった事故は半分に減りました。

「自転車に乗るのをやめた」という話も聞きますが、走っている自転車を見ているとヘルメットを被っている方が増えましたし、ルールを守っている方も増えました。しかし、自転車運転者の

違反も、自転車の交通事故もなくなつたわけではありません。また、気が緩んでくる頃なので、これから増えるかもしれないかもしれません。

さあ、自転車に乗る人も、乗らない人も、改めて安全について考えましょう。

自転車が関係する交通事故のほとんどは交差点で発生しています。

誰もが信号や一時停止を守ることはもちろんですが、飛び出し、見落とし、期待（相手が止まるだろう）に気がつけましょう。

人も自転車も、ルールを守ってご安全に！



自転車安全利用五則

1. 車道が原則、左側通行歩道は例外、歩行者を優先原則として車道の左側を通行しましょう。歩道は歩行者が優先です。すぐに停止出来る速度で通行しましょう。
2. 交差点では信号と一時停止を守って安全確認信号機のある交差点では、信号が青になってから安全を確認して横断しましょう。一時停止のある交差点では、必ず一時停止をして安全を確認してから横断しましょう。
3. 夜間はライトを点灯夜間は、ライトを点けなければなりません。自転車に乗る前にライトが点くか点検しましょう。
4. 飲酒運転は禁止お酒を飲んだ時は自転車に乗ってはいけません。
5. ヘルメットを着用



静岡県違反行為で

青切符37人に交付

四月一日に始まった自転車の青切符制度を巡り、静岡県警は、一か月で三十七人の違反行為に青切符を交付したと発表しました。

県警によりますと静岡県内で四月一日から三十日までの一か月間に青切符が交付されたのは三十七人で内訳は携帯電話を見ながら運転するながらスマホが二十三人、通話が十二人、右側通行と信号無視がともに一人でした。

指導警告したのは、二千六十八件で一番多かったのは、一時不停止が千百三十七件と半数以上を占め、次いで、二台以上が並んで進む行為が三百七十七件でした。



2027年4月より

静岡県条例改正を準備

高校生にヘルメット義務化を計画

静岡県は2019年より自転車で通学する小中学生にヘルメットの着用を条例で義務化しています。高校生の着用率が低調なことから、自転車事故が登校下校時に多いということから2027年4月より高校生への義務化計画を進めています。自動二輪車も自転車も自分の命を守ってくれるヘルメットの着用はとても大切なことです。安全第一の通学を実践しましょう。

清水海上保安部交通課より

いよいよ夏休みがやってきます。夏といえば、海！海へ遊びに行く予定がある人もいるかと思いますが、海で安全に楽しく遊ぶためには、海で気をつけることを知っておくことが大切です。次のことを守って楽しく夏を過ごしましょう。

海水浴や磯遊び、釣りなど海は楽しい場所ですが、

急に波が高くなったり、滑りやすい場所や足がつかない場所に流されたりする危険がたくさんあります。

こうした危険から身を守るために、海へ行く時は必ず保護者や家族などの大人の人と一緒に行動しましょう。

また、市や町が開設する管理された海水浴場には、ライフセーバーや監視員が海で遊んでいる人を見守っています。もし人が溺れたり、遠くに流されたりしてもライフセーバーがすぐ助けてくれます。しかし、ライフセーバーや監視員のない海岸では、事故に遭ってもすぐに助けってもらえません。

遊泳中の事故の多くは、海水浴場ではない海岸やライフセーバーがいない時間で起きており、海水浴場以外の海岸で遊ぶことは、大変危険です。

海で遊ぶ時のルール

●海へ子供だけで行かない

海水浴や海の近くで遊ぶときは、大人と一緒にいきましょう。保護者の方は子供から目を離さないようにお願いします。

●ライフセーバーがいる海水浴場で泳ぐ

ライフセーバーや監視員がいる管理された海水浴場に行きましょう。

●立ち入り禁止の場所に入らない

立ち入り禁止の場所は危険です。絶対に入らないでください。

●ライフジャケットを着る

海水浴場や釣りなど海で遊ぶときは、必ずライフジャケットを着ましょう。

